

基盤的研究・人材育成拠点を構成する 各大学における人材育成プログラムの概要

総合拠点(1拠点)

- ・「政策のための科学」に関する博士及び修士課程を設置し、専門的知識及び能力を習得するための総合的なカリキュラム等を設定
- ・全体の中で中心的な役割を果たし、各拠点の具体的な連携を行う拠点間共同プログラムに関する総合調整を実施

「政策研究大学院大学」

- ・社会的課題を的確に捉える能力、及び科学的アプローチを用いて科学技術イノベーション政策の企画・立案・実施・評価・改善を行う能力を有する人材を育成
- ・政策のために科学に関する修士課程及び博士課程を設置
- ・拠点間連携を主導するとともに、政策のための科学に関する学問領域の発展やコミュニティ形成を牽引

修士1名、博士17名

領域開拓拠点(4拠点)

- ・既存のプログラムとは独立した形で、「政策のための科学」に関する人材育成プログラムを開設

「東京大学」

- ・公共政策・工学の領域を軸として、政策形成や科学技術イノベーション政策研究のための人材を育成
- ・既存の大学院修士課程に部局横断型プログラムを設置

修士139名 博士14名

「一橋大学」

- ・経営学・経済学等の社会科学を基盤としつつ、自然科学や工学的知見も取り込んだ領域横断的なイノベーション研究を担う人材を育成
- ・博士課程レベルのプログラムを設置

博士7名、その他5名

「大阪大学(京都大学)」

- ・科学技術の倫理的・法的・社会的問題(ELSI)研究を領域の軸とし、学問分野間及び学問と政策・社会の間をつなぐ人材を育成
- ・既設の修士課程にプログラムを設置、両大学が連携し、関西地域のニーズや特色を活かす教育研究の推進

大阪大学:修士17名、博士6名
京都大学:修士10名、博士4名

「九州大学」

- ・東アジアと地域イノベーションを領域の軸とし、専門領域と政策のための科学をつなぐ人材を育成
- ・大学院共通教育科目としてプログラムを開講

修士24名
博士2名
科目等履修生7名

拠点間共同プログラム

- (1) 国際シンポジウム:海外から著名な研究者を招へいし、国内外の関係機関のネットワークを拡大する。
- (2) 政策構想ワークショップ:行政官・政治家・企業家等をまじえたディスカッションを行い、研究成果の応用、社会のニーズ吸収、ネットワーク形成を図る。
- (3) サマーキャンプ:各拠点の教員・学生が一堂に参集し、理解・交流を深める。